

福島県災害時学校支援支援チーム (HOPE-F) について(福島県)

1. チームの概要

東日本大震災の経験を踏まえ、県外または県内で災害が発生した際に教育的支援を目的として迅速に教職員を派遣する「福島県災害時学校支援チーム (HOPE-F (ホープふくしま))」を令和7年度に設置。令和8年2月末現在、27名がチーム員として登録している。

チーム員が派遣された時の共通認識を作りあげるなど丁寧な取組に心がけ、研修会の充実を図るとともに、震災から時間が経ち、震災学習の教材開発に苦慮する教員もいることから、教職員の研修会を計画し、広く学校現場等での震災学習・防災教育に寄与するために行う。

2. 組織構成

「福島ならではの」の震災学習・防災教育へつなげる!



組織体制	主な協議(取組)内容	構成員
庁内会議 ・定例会 ・臨時会(発災時等)	○チーム員設置及び運営にかかること ○HOPE-F登録者名簿の運用に関すること ○チーム員の研修会に関すること ○チーム員の派遣に関すること ○年次計画に関すること ○防災教育に関すること	◎教育総務課長 ○社会教育課長 ・職員課長 ・高校教育課長 ・健康教育課長 ・義務教育課長 ・特別支援教育課長
チーム員	【平時】 ・震災学習・防災教育事例の所属内共有・活用 【発災時】 ・被災地での支援活動	参加を希望する県立学校の主幹教諭、 教諭、養護教諭、栄養教諭及び 教育庁等職員(教員系職員のみ)

3. 養成方法、周知・還元方法

(1) 研修会

- ①キックオフミーティング(チーム員必須研修)
- ②対面研修会(チーム員+希望する一般教職員)
- ③オンデマンド研修(チーム員+希望する一般教職員)

(2) 研修内容

- ・支援の心構え、避難所運営、こころのケア、震災関連施設の見学 等



4. 今後の展開

- ・令和7年度の募集対象教職員は県立学校のみであったが、被災地での長期的、継続的な支援に対応するため、今後は募集対象を市町村立学校教職員まで広げ、組織の拡大を図る。
- ・チーム員の発災時の活動だけでなく、平時の活動にも重点を置く。チーム員の所属する組織や学校、地域での防災教育にも寄与できるような研修内容を検討する。